

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名	白井市立白井第一小学校
<p>1 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教員相互の教材研究を通して、学校図書館の活用なども考慮し児童が興味をもって自ら進んで取り組める授業を展開する。</li><li>・ 学習の流れや板書の仕方などユニバーサルデザインを意識して、分かりやすい授業を計画し、子どもが意欲的に学習に取り組めるようにする。どの教科でも学習の流れを子どもたちが見えるような指導を心がけ、学習のプロセスを理解できるような指導をしていく。</li><li>・ ちばっ子チャレンジ100の問題を朝の15分間の学習（読書タイム・スキルタイム・視写タイム）の時間に活用し、基礎学力の定着を図り子どもの達成感を高める。</li><li>・ ノートの使い方・発表の仕方・話の聞き方など学習規律の共通理解を図り、学習の姿勢が身につくよう指導していく。</li><li>・ 「思考し、表現する力」を高める実践について、県のホームページに掲載された実践事例を研修し、全教科での授業改善に取り組む。</li><li>・ 研究教科の算数科では、導入や学習活動の工夫、教え合いの場面を意図的に取り入れることにより、授業改善に取り組んでいく。</li></ul> <p>2 家庭学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 家庭学習の大切さについて保護者会や学校だより、校長室だよりなどを通して保護者に啓発する。</li><li>・ 音読や漢字・計算など基礎学力の定着を目指し、毎日継続して家庭でも学習する習慣を身につけさせる。</li><li>・ 宿題や自学などは必ず事後の評価を行い、学習への意欲の向上につなげる。</li></ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 昼休みを活用して週に1回読書を継続して行う。（3年生以上）</li><li>・ 学力の個人差を縮めるため、少人数指導や市職の補助教員の活用を図る。</li></ul>	

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名	白井市立白井第二小学校
<p>1 授業を通して</p> <p>○どの学年も「対話的な学び」を行えるよう授業展開の工夫を行っていく。また、学年の発達段階に合わせて下学年はペア学習、上学年はグループ学習などに取り組んでいく。昨年度の取り組みから、「ペア・グループ内で、お互いに考えを発表し合うだけになってしまった。」という課題も明らかにすることができたので、今年度は学習素材から「なぜそうなるのか」を考えたり、友達の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を見つけたりし、理解を深めていきたい。</p> <p>2 家庭学習を通して</p> <p>○学年を問わず、計算・漢字の練習を繰り返し行っていく。 低学年は家庭と連携し、音読カードや読書カードを活用しながら、読む力の向上に努めていく。4年生以上の学年は、自主学習ノートを作り、自ら学習する姿勢を身につけられるように図る。</p> <p>3 その他</p> <p>○基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・発表の仕方、ノート指導の工夫等、学習習慣・学習規律の確立</li><li>・「話す・聞く」の力の育成 (各教科での発表や行事での役割などを適切な話し方の機会と捉え、「話すこと」の指導の日常化を図る。また、「聞くこと」の力を伸ばすために、発表者の方へ体を向けるなど聞く姿勢の徹底を図る。)</li><li>・学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動の導入</li></ul> <p>○思考力・判断力・表現力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・総合的な時間や生活科で、福祉教育、環境教育、国際理解教育、食育、キャリア教育等の領域を取り上げ、地域の教育資源（素材や人材）を活用した体験学習を推進する。</li></ul> <p>○読書指導・図書館教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・朝読書、おはなしのたまてばこ（読み聞かせ）による読書習慣の醸成</li><li>・読書と連携させた国語科授業への読書活動推進補助教員の参画</li></ul> <p>○研修の充実による、教職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・算数科の授業研修、実技研修、管理訪問等を通じた指導力の向上 (教師の指導力向上が、児童の学力向上に繋がると考える)</li><li>・若年層教員の授業研修の推進とミドルリーダーの育成</li><li>・市夏季研修や他校の公開研究会等への積極的な参加</li><li>・校長、教頭による授業観察と指導の充実</li></ul>	

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名	白井市立白井第三小学校
<p>1 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○表現力（「発表する力」）の向上<ul style="list-style-type: none"><li>・ 図書資料や ICT を活用して調べたり，話し合いを通して情報を収集したりする力を高める。 受容（受け入れる力）</li><li>・ 収集した情報を，発信する目的や相手，自分の考えに応じて，整理する力を育てる。 考察（整える力）</li><li>・ 整理した情報を，工夫して（ポスターセッション，ペープサート，ICT 活用等）発表する力を育てる。 表現力（発表する力）</li></ul></li><li>○学び合いの場の設定<ul style="list-style-type: none"><li>児童が自分の考えを持ち，お互いの考えを出し合い，自分の考えを確かめたり，深めたりできる学習集団を作る。</li></ul></li></ul> <p>2 家庭学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○内容と量を精選して，宿題を確実にやりとげられるように調整する。</li><li>○継続的な音読・計算練習カードや日記活動を行い，保護者確認サイン等，保護者に協力をし ていただき，家庭学習の定着を図る。</li><li>○出題範囲を予告して行うテスト（「月例テスト」下記参照）を実施することで，目的意識をも って家庭学習に取り組みさせる。また，学年だよりで誤答の傾向等を知らせたり，月例テスト ファイルでテスト結果を知らせたりすることで，保護者の関心を高める。</li></ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○読書指導の充実<ul style="list-style-type: none"><li>朝の読書タイムを毎日8：05～8：15の日課に位置づける。読書に親しませ，活字に馴染ませ生涯学習の礎を図ると共に読解力の向上を図る。また，落ち着いた中で1日のスタートを切らせ学習に取り組みさせる。</li></ul></li><li>○ドリルタイム（サンサンタイム）の取り組み<ul style="list-style-type: none"><li>毎日8：15～8：25の日課に位置づけ基礎基本の定着を図る。</li></ul></li><li>○月例テスト（漢字・計算）の実施<ul style="list-style-type: none"><li>出題範囲を児童に予告し，毎月定期的に習熟度を確認するテストを実施する。テストの結果を通して児童への賞賛をしたり，理解不十分な点を確認したりし学習意欲の向上を図る。</li></ul></li></ul>	

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名	白井市立大山口小学校
<p>1 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○今月の詩の朗読<ul style="list-style-type: none"><li>・各学年で毎月詩を一編決める。毎日、声に出して読むことで、言葉の面白さや表現の美しさ、リズムを味わう。</li></ul></li><li>○読書活動推進補助教員との連携<ul style="list-style-type: none"><li>・学習に応じた図書を選書と紹介をし、発展的な学習を目指す。</li></ul></li><li>○読書活動の充実<ul style="list-style-type: none"><li>・読書の足跡を記録し、毎月集計する。 (読書の記録：卒業までに500冊読破を目標に、低中学年は年に100冊、高学年は50冊を読むことを目標にして記録していく。)</li></ul></li><li>○授業改善<ul style="list-style-type: none"><li>・国語科で他学年に対する音読発表会を設けるなど、意図的に表現する場を設定する。</li><li>・学習の足跡が見える、整理された板書を意識し、実践していく。</li></ul></li></ul> <p>2 家庭学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○毎日の家庭学習の内容<ul style="list-style-type: none"><li>・全学年を通して音読を行い、声に出して読むことに慣れ、優れた文章表現に親しむ。</li><li>・宿題は学年で話し合い、内容と量を決めて行う。 &lt;内容例&gt;・音読カード ・ドリル学習 ・補助プリント ・作文(日記) ・自由課題</li></ul></li><li>○個別面談での学習状況報告<ul style="list-style-type: none"><li>・夏季休業前に、評価テストの集計結果や、学習への取り組みの状態などを知らせこれらの指導方針と家庭学習で取り組んで欲しいことなどを保護者へ伝える。</li></ul></li></ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 朝自習「大小タイム」<ul style="list-style-type: none"><li>・大小タイムの時間(月・火・水・金 8:10～8:25)</li><li>・内容は、読書(月・水曜日)、計算学習、漢字学習、ドリル学習、小テストなど</li><li>*月1回、水曜日：本の読み聞かせ「お話ドロップス」(保護者ボランティア実施)</li></ul></li><li>(2) 月例テスト「大小チャレンジ」<ul style="list-style-type: none"><li>・児童の学習意欲の向上を図ることを目的として、月の中旬に国語(漢字)、算数(計算、知識理解領域)のテストを行う。(5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 1, 2月の計9回)</li><li>・学年だよりに、学年平均点と考察(誤答例など)を載せて、保護者への啓発を図る。</li></ul></li></ul>	

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名

白井市立清水口小学校

### 1 授業を通して

- ・問題に取り組む時に個々の考えをもつ時間を確保し、自分の言葉や図で表現する過程を大切にする。
- ・自分の作ったおもちゃについての説明や、図工作品の説明など、学習活動全般にわたっての表現活動を行う。
- ・算数科の問題解決学習では、問題の解き方を互いに説明し合う場を大切にし、既習事項をどのように活用しているか等の思考過程を互いに理解し合うことができる場を多く設定する。
- ・行事ごとに「絵日記」を書かせたり、社会科の校外学習で学んだことを新聞にまとめさせたりすることで、文章表現力を身につける。
- ・意見文を書くことで自分の立場を決めて、根拠の元となる資料を選び、文章を組み立てていく学習や、筆者の行動や心情に対する自分の考えを書く学習を通して文章に表現する力を高めていく。
- ・語彙を増やし、自分の作文に生かせるよう、新しい表現の仕方を子どもたち同士に互いに見つけさせ、発表させる活動を取り入れる。
- ・図や数直線だけを提示してその後の解き方を皆で一緒に考えていくことで、下位の児童も意味を少しずつ理解できるようにさせる。
- ・個人差が大きく、計算力の差が学力の差となっている部分が多いので、朝のドリルの時間を有効に活用する。
- ・応用問題となると見通しを持つことができなくなる場面が見られた。日頃から、発展的な問題に取り組ませる。
- ・各学級に図書室優先利用日を設定し、読書活動推進補助教員との連携を取りやすい体制を整え、読書活動の充実を図る。
- ・管理職や主幹教諭による授業巡回を通して、授業改善のための指導助言を行う。
- ・「ちばっ子チャレンジ100」「学びの突破口ガイド」の利用を啓発し、活用させる。

### 2 家庭学習を通して

- ・毎日家庭学習で音読・漢字・計算に取り組ませる。
- ・家庭学習が習慣化されるように継続した取り組みを行う。
- ・「家庭学習の手引き」を学校ホームページに載せ、家庭学習のあり方や考え方の啓発を図る。

### 3 その他

3～6年生においては、火水木曜日の朝の15分間、国語と算数の短時間で学習できる内容に絞り、モジュール学習を取り入れている。また、効果的な学習を組み立てられるように、朝のモジュール学習と1時間目が連続するよう日課表を組み立て直した。なお、月曜日は読書の時間、金曜日はドリルの時間として扱っている。1・2年生においては、月火水曜日の朝の15分を読書の時間、木金曜日をドリル学習の時間として扱っている。

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名	白井市立南山小学校
<p>1 授業を通して</p> <p>○国語科学習</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・物語文では登場人物の気持ちの変化について意見交換をする。また、作文指導では、互いの作文を読み合い推敲し教え合うといった話し合い活動を積極的に入れていく。</li><li>・話し合い活動を行うことで話したり聞いたりする能力が高められると考える。そうすることでしっかり意見が言えるようになれば主体的に学習に取り組めると考える。</li></ul> <p>○算数科学習</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・算数科学習の流れを定着させ、学年が変わっても同じ進め方で学習できるようにする。①問題把握。→②見通しをもつ。→③自力解決。→④比較検討。→⑤まとめ、感想を書く。特に見通しと比較検討で話し合い活動を取り入れることが深い学びにつながると考える。</li><li>・少人数指導，T．T．の充実を図る。</li></ul> <p>2 家庭学習を通して</p> <p>○各教科の学習</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基礎基本の定着を図り、主体的に学習に取り組めるように、家庭学習にも復習プリントを取り入れていく。</li><li>・高学年では、家庭学習計画を立てるよう助言し、見通しをもって学習できるようにする。</li></ul> <p>○音読</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・音読カードを活用し、家庭学習として毎日継続して行う。その際、保護者が判断しやすい観点を設定する。(よい姿勢で、はっきりと、ゆっくり、気持ちを込めて など)</li><li>・教員や児童相互が音読練習の成果を認め、評価する機会を持つ。</li></ul> <p>○保護者への読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・月1回、子どもが保護者に読み聞かせを行い、読むことへの意識を高める。 (第1金曜日・・・1，4年 第2金曜日・・・2，5年 第3金曜日・・・3，6年)</li></ul> <p>3 その他</p> <p>○打ち合わせ等での提案</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・打ち合わせ等に、学力向上に関する提案を行うことで、職員の共通理解と意識の向上を図る。</li><li>・学力テストの資料の見方や分析，ちばっ子チャレンジの紹介，学力テストに向けて前年度の反省など，ポイントを決めて提案を行う。</li></ul>	

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名	白井市立七次台小学校
<p>1 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年3回の研究授業を中心に、職員研修に力を入れる。</li><li>・2～4人の小グループでの話し合いを、意図的にたくさん設定する。</li><li>・「発表の仕方」モデルの実践を、さらに徹底する</li></ul> <p>2 家庭学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・宿題の他に音読することを、今年も全学年で実践する。</li><li>・自学を効率的に進められる工夫を考える。</li><li>・宿題・音読・自学が滞る児童が学級に数人いるので、親の協力体制をもう少し強化する。</li></ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・毎月1回、計算大会と漢字大会を行い、基礎学力の定着を図る。</li><li>・教材備品や学習環境を整備し、指導の効率化を図る。</li><li>・集中力が持続しない児童が多いので、集中力を高めるトレーニングをする。</li><li>・文章問題をたくさん解き、題意を読み取る練習を重ねる。</li><li>・成績上位の児童と下位の児童との差が激しいので、少人数指導などで底上げをする。</li><li>・体験学習をたくさん設定し、児童の関心・意欲を高める。</li><li>・若手教員の育成の場を可能な限りたくさん設定する。</li><li>・音読を国語だけでなく算数でも積極的に取り入れる。</li><li>・児童同士の教え合いの場を多く設定する。</li><li>・「学びの突破口ガイド」と「ちばっ子チャレンジ100」を活用する。</li></ul>	

## 平成30年度 学力向上のための取り組み

学 校 名	白井市立池の上小学校
<p>1 授業を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①学習規律を身につけさせる。</li><li>②授業の導入、単元の導入の指導の工夫（学習意欲を持たせる）</li><li>③自分の考えをノートやワークに書き、話し合い（ペア・班・学級全体）ながら、理解を深める。（主体的・対話的で深い学び）</li></ul> <p>2 家庭学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①自主学習の奨励～自主学習の意義・進め方・取り組み例を載せたプリント配布</li><li>②保護者の協力の下、家庭学習の習慣化～特に中学年時に</li></ul> <p>3 その他（基礎学力の定着のために）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 朝のチャレンジタイムの実施～毎週月・水・金の週3回15分間（教師が必ずつく。授業時数には必要に応じてカウントする。）</li><li>(2) 読書活動の推進<ul style="list-style-type: none"><li>①朝の読書タイム～毎週火・木の週2回15分間（授業時数にカウントせず。）</li><li>②朝読書の実施…落ち着いた静かな環境で教師も一緒に行く。</li><li>③保護者ボランティアサークル「おはなしトランク」による読み聞かせ（月1回）</li><li>④読書活動推進補助教員による図書室環境の整備</li></ul></li><li>(3) 「学年のめあて」の選定 ～年間通して継続的に指導する内容を精選 例 4年 都道府県名と場所を覚える</li><li>(4) 算数少人数指導の充実<ul style="list-style-type: none"><li>①5年生以上で、少人数指導を行う。児童の実態に応じて各学年2学級を、習熟度別グループ3つに分け、授業を行う。</li><li>②特に支援が必要な児童は、少人数編成にし、きめ細かな指導を行う。</li><li>③ただ単に多様な考え方・解き方を導き出すだけでなく、どういう状況の時にどういう考え方・解き方が有用となるのか、比較検討の場をもつ。</li></ul></li></ul>	



## 平成30年度学力向上のための取り組み

学 校 名

白井市立桜台小学校

### 1 授業等を通して

- 毎朝、読書タイムとスキルタイムを実施する。登校後、静かに読書をすることで落ち着いて学習に臨む状態をつくる。続いてスキルタイムをし、国語、算数を中心に児童の実態に応じた既習事項の反復練習や、発展学習等を行う。
- 算数の基礎である計算力を高めるために、全校で「計算ステップ」に取り組む。朝のスキルタイムや授業中に行い、計算力の定着をめざすと共に、定着率が低い内容について個人で反復練習をさせたり、クラスで復習したりして定着を図る。よく身につけている児童にはステップアップできるように時間を短くする、問題数を増やす、難しい問題をするなど取り組み方を工夫させ、さらなる計算力の向上を目指すようにさせる。
- 授業形態の工夫による算数科の指導を充実させていく。
- スキルタイムでは各学年の実態に応じた内容の音読をしたり、漢字ミニテスト、漢字ドリルの反復練習をしたりして、基礎学力の定着をはかる。
- ～校内研修を通して～
- 算数科で、思考力・表現力・判断力を高める指導の工夫の研究に取り組む。
- 教師一人1回は授業研修を行い、お互いに見合いながら授業力を高めていく。
- ～本に親しもう～
- 読書への関心を高め、読書を通して豊かな心の育成をはかる。
- 朝読書で、より多くの本に親しめる時間を確保し、記録カードを活用して自分の読書の振り返りをして、さらに意欲をもって本を読むことができるようにする。
- 図書委員会の活動「多読賞表彰」「図書祭～スタンプラリー、キャラクター投票～」など
- 図書ボランティアの方による読み聞かせや語り。白井市図書館の貸し出しの利用。
- ～幅広い学習意欲を高めよう～
- スペシャルスタディー（小中学校職員・保護者による夏休み公開講座）を実施し、教科の枠を超えた豊かな学習経験を通して、学習に対する意欲や関心を高める。

### 2 家庭学習を通して

- 各学年の実態に応じた内容の家庭学習課題を毎日出す。5、6学年は、自学による家庭学習を奨励する。漢字や計算だけではなく、発展学習、読書、日記等にも取り組ませる。

### 3 その他

- 桜台中学校と共同で取り組んでいる「9年間の約束」を全クラスに掲示し、学習中の約束として守れるよう指導している。
- 学習意欲の向上、個に応じた指導の充実を図り、自分の考えを持ち、表現する力、話し合いを通して深めていく力を高めていきたい。